



主催：新宿区立新宿消費生活センター

委託先：一般社団法人消費生活総合サポートセンター（Cサポ）

令和5年度 新宿区消費者講座

スマホで学ぼう！ 家庭内のヒヤリハット (幼児・高齢者見守り編)

日時：8月27日(日) 13:30~15:30

会場：戸塚地域センター

講師：一般社団法人消費生活総合サポートセンター 安岡 満美子

プログラム

1. 幼児と高齢者の事故の特徴を理解しよう

2. 家の中のヒヤリハットを探そう

【ワーク①】 家の中のヒヤリハットを探そう

【ワーク②】 自分の家族や周りの人でヒヤリハットした体験を共有しよう

3. 安全な住まい方について考えよう

【ワーク③】 自分の家族や周りの人の家庭内の事故を防ぐために、自分で注意しようと思うことを共有しよう



講座で使用した教材はホームページにアップされるから、何回も挑戦できるよ！

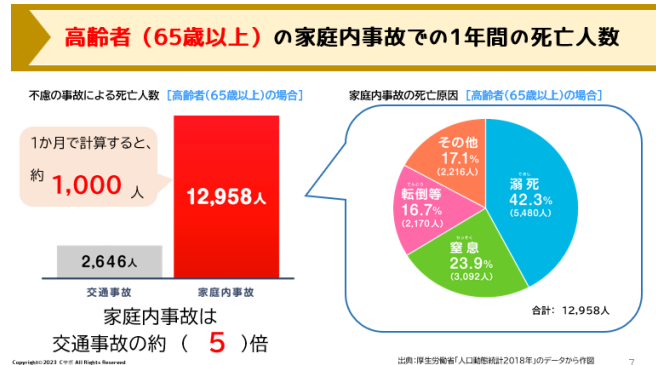
【内容・目標】Web 教材で「家の中のヒヤリハットを探そう」を体験し、安全な住まい方について自分が取り組めることを考える。

1. 幼児と高齢者の事故の特徴を理解しよう

WEB 教材を通じて、家庭内のどこで、どのような事故が起きているか考えました。

2. 家の中のヒヤリハットを探そう

交通事故より家庭での死亡事故のほうが多いこと、重大な事故を防ぐためには、ヒヤリハットを見逃さないことが大切であることを伝えました。



【ワーク①】 家の中のヒヤリハットを探そう

家庭内のどこで、どのような事故が起きているか、受講者はスマホや端末で、WEB 教材「安全について考えよう(ヒヤリハットを探そう)」にアクセスし、家庭内のヒヤリハットを探しました。



「オンラインで学べる消費者教育教材」
クリックすると URL に飛びます。

【ワーク②】 自分の家族や周りの人でヒヤリハットした体験を共有しよう

オンラインと会場の皆さんとで Google フォームを使って自分や家族のヒヤリハット体験を共有し、意見を共有しました。

多くの事故事例を動

ワーク② ヒヤリハットの体験を共有しよう (意見共有)

自分の家族や周りの人でヒヤリハットした体験を教えてください。

	1. ヒヤリハットした人は誰ですか。	2. ヒヤリハットした場所はどこですか。	3. 誰が、どこで、どのようなヒヤリハットが起ったか、教えてください。
1	高齢者	台所	70代の母親がナイロン製のベストを着用し娘の家で調理。自宅より高いキッチンのため、物が取れず手を伸ばした際にガスコンロに近づき過ぎてしまいナイロンベストが燃え穴があいた。
2	高齢者	台所	高齢の母がガス台に鍋をかけている間にガス台回りを拭こうとしたら、キッチンペーパーにガスの火がついてしまい、慌てて消した。
3	子供	縁側	リンゴを1/8カットして持たせて座らせていたが、気が付いたらのどに詰まらせていた。
4	子供	階段	階段を転げ落ちる
5	子供	風呂場、洗面所	6歳男児が脱衣所でバスマットに飛び乗り転倒した。

画や実物を見ながら、事故の怖さを体感しました。



ヒヤリハットの動画  下の画像をクリックすると動画再生します 

あっ、危ない！
動画で知ろう！
家庭内のヒヤリハット

転倒防止対策のない家具に注意！

子どもがタンスによじ登って転倒する事故の再現映像
提供：独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)

ボタン電池の誤飲に注意！

ボタン電池による化学やけどの再現映像(鶏肉を使用したテスト)
提供：独立行政法人国民生活センター

着衣着火に注意！

ガスこんろの着衣着火の再現映像
提供：独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)

Copyright©2020 C-IT All Rights Reserved

3. 安全な住まい方について考えよう

家族のヒヤリハット体験を共有し、家庭内で事故にあわず、安全に暮らすためにどうしたらよいかを一緒に考えました。

4. まとめ

ヒヤリハットは大切なことだと思いつつも、普段真剣に考える機会がありません。今回の研修を通じ、受講者が自分事にとらえ、普段の生活を振り返ることができたと思います。



受講者の感想から

- ・交通事故よりも家庭内事故のほうが多いとは驚きました。
- ・ヒヤリハットは誰にでも理解できる内容だが、定期的に自分自身で確認できることに意義があると思いました。
- ・様々なシーンでの事故の様子がわかり、今後参考にしようと思いました。
- ・スマホを使っただけの講座なので緊張したが、親切に教えてくれて、ゆっくり楽しく参加でき、しっかり学ぶことができました。